

## E 建築基準法第12条および屋外広告物条例による点検業務 個別業務仕様書

### 1 業務の概要及び目的

対象となる建築物について建築基準法第12条第2項及び第4項による定期点検業務（以下「12条点検」という。）及び豊田市屋外広告物条例（令和2年3月26日公布）第21条の2による点検（以下「広告物点検」という。）を実施することで、建築物の適正な維持管理業務に資することを目的とする。

### 2 対象施設

対象施設は、「【別表 E-1】対象施設一覧」による。

### 3 委託内容

乙は、本業務を以下のとおり行うものとする。

#### （1）資料の収集・整理（共通）

点検対象建築物の図面（配置図、各階平面図、立面図、過去点検結果資料：原則、甲から資料提供あり）等を敷地単位ごとに現地調査用に加工する。

建築物の図面は、改修状況を現地確認して相違点がないかチェックをし、最新の状態とする。

#### （2）点検計画の確定（共通）

点検対象建築物の構造種別や用途等に応じた点検項目を考慮し、定期点検計画を確定する。また、各施設へのヒアリングのため、点検予定日のスケジュールを提出し、漏れなく効率よく点検作業が行えるよう点検経路の検討を行う。（施設との日程調整含む。）

#### （3）点検の実施及び判定

##### ア 12条点検

##### （ア）点検方法・基準

「平成20年国土交通省告示第282号（建築物の定期調査報告における調査及び定期点検における点検の項目、方法並びに結果の判定基準並びに調査結果表を定める件）」（以下「告示282号」という。）、「平成20年国土交通省告示第285号（建築設備（昇降機を除く）の定期検査報告における点検の項目、事項、方法及び結果の判定基準並びに検査結果表を定める件）」（以下「告示285号」という。）、平成28年「国土交通省告示第723号（防火設備の定期検査報告における点検の項目、事項、方法及び結果の判定基準並びに検査結果表を定める件）」（以下「告示723号」という。）、「特定建築物定期調査業務基準（2021年改訂版）」、「建築設備定期検査業務基準書（2023年版）」及び「防火設備定期調査業務基準（2020年改訂版）」に基づき点検を行う。

##### （イ）点検実施時の留意事項

点検実施にあたっては、施設運営に最大限配慮を行いながら、点検実施が困難な状態に

ある場合は、適宜施設管理者の協力を得ながら是正し、確実に点検を履行すること。ただし、足場等設置を必要とするものは除く。換気設備の風量測定は、原則、手の届く範囲では屋外フード部分で測定すること。また、【別表 E-1】対象施設一覧と異なる施設の状況があった際には、相違の内容を示す資料を添えて甲に報告の上、その点検方法について協議すること。

#### (ウ) 点検結果の判定

「告示 282 号」、「告示 285 号」、「告示 723 号」、「特定建築物等定期調査業務基準（2021 年改訂版）」、「建築設備定期検査業務基準書（2023 年版）」、「防火設備定期検査業務基準書（2020 年版）」及び「【別添 E-4】評価判定基準（豊田市版）」に基づき判定を行う。ただし、判定に先立ち判定基準の目揃いを監督員に受けること。

#### イ 広告物点検

「【様式 E-2】屋外広告物安全点検報告書」に基づき点検を実施し、判定を行う。ただし、足場等設置を必要とするものについては除く。

#### ウ 点検の実施時期

12 条点検、広告物点検の実施は、原則、令和 8 年 4 月 1 日以降とすること。

#### (4) 資料整理等（共通）

成果品を次回調査及び施設修繕工事が円滑に行えるように整理し、データ化する。

### 4 業務体制

#### (1) 本業務の点検を行う者は以下のとおりとする。

##### ア 12 条点検

一級建築士若しくは二級建築士又は建築基準法施行規則第 6 条の 5 に規定する資格者証の交付を受けている者（以下「建築物調査員資格者等」という。）とする。ただし、建築物調査員資格者等が点検を行う場合は、実績等を証明するものを提出し、甲の承認を受けること。

##### イ 広告物点検

豊田市屋外広告物条例第 21 条の 2 第 2 項の資格を有する者とする。なお、12 条点検を行う者との兼務は可能とする。

#### (2) 保守点検を実施するときは、その都度施設管理者の立会いを求め、保守点検の実施結果について確認を受けること。

#### (3) 乙は、点検等の実施に当たり、点検等に適した服装で業務関係者として必要な身分証、資格の携帯用認定証等を携帯して点検等に従事すること。

### 5 業務報告

納品すべき成果品は次のとおりとし、契約期間内は 1 ～ 2 カ月毎にその時点までに点検を完了した施設の点検結果報告書類データ（エクセル形式又は P D F 形式）を提出し、監督員の確認を受けること。

(1) 12条点検

ア 点検結果報告書類 2部提出（電子又は紙媒体で全施設1部、施設別各1部）

※詳細は「【別添 E-5】定期点検報告書作成要領」参照

（ア）定期点検結果報告書【様式 E-1】

（イ）点検結果表（【別紙 E-1～9】A4）

（ウ）調査結果図（【別添 E-1】A3）

（エ）関係写真（【別添 E-2】A4）

（オ）是正項目一覧表（【別添 E-3】A3）、

イ 上記書類及び現況図（指摘事項等を記入前の調査結果図）の電子データファイル

※原則①～④はエクセル形式又はPDF形式、⑤はエクセル形式とする。

※提出媒体はCD-Rとし、1施設1フォルダでデータを保存すること。

(2) 広告物点検

ア 点検結果報告書類 2部提出（紙媒体で全施設1部、施設別1部）

（ア）点検箇所 点検項目表（【様式 E-2】）

（イ）配置図（様式任意。屋外広告物の位置を明示すること。）

（ウ）関係写真（様式任意。A4）

※屋外広告物外観及び異常個所が分かる写真を貼付すること。

イ 上記書類の電子データファイル

※提出媒体はCD-Rとし、1施設1フォルダでデータを保存すること。

6 その他

(1) 点検に要する材料、消耗部品等の費用は、乙の負担とする。ただし、次に掲げる費用は、甲の負担とする。

ア 点検に使用する上水道及び電気の料金

イ 設備の破損、老朽等により修理等を要する場合で甲が認めた費用

(2) 点検の実施に当たり、施設の運営等に支障を来さないようにするとともに、施設利用者、勤務者の安全を確保すること。

対象施設一覧（建築基準法第12条および屋外広告物条例による点検業務）

	2項点検対象施設	3年に1回実施（※次回は令和10年度）
施設数	60	
延べ面積(小数点切捨て) (㎡)	64,589	

	4項対象施設	毎年1回実施
	内防火設備対象施設	
施設数	60	15
延べ面積(小数点切捨て) (㎡)	64,589	27,335

	屋外広告物点検対象施設	3年に1回実施（※次回は令和10年度）
施設数	8	
屋外広告物数	9	

NO	所管課	施設番号	施設名	代表所在地	用途名	家屋構造	建築年	地上階層	地下階層	施設床面積計	2項対象施設	4項対象施設	換気	給排水	非常照明	防火設備 有無	防火戸	防火 シャッター	スク リーン	可動垂 壁	屋外広告物点 検施設	屋外広告物数
1	保育課	109	朝日こども園	日南町5丁目15番地2	保育室	鉄筋コンクリート造	S46	2	0	786	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
	保育課					S47	2	0														
2	保育課	110	上郷こども園	上郷町郷下15番地	保育室	鉄骨造	S55	1	0	931	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	保育課						S56	1	0													
	保育課						H3	1	0													
	保育課																					
3	保育課	111	拳母こども園	拳母町5丁目58番地	保育室	鉄筋コンクリート造	S47	2	0	1,028	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
	保育課							2	0													
4	保育課	112	住吉こども園	住吉町1丁目6番地3	保育室		S56	2	0	1,045	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
6	保育課	115	童子山こども園	水源町1丁目1番地1 小坂町16丁目51番地	園舎	鉄筋コンクリート造	S57	1	0	622	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	2
	保育課				保育室		S41	1	0													
	保育課				遊戯室		S43	1	0													
	保育課				保育室		S46	1	0													
	保育課						S48	1	0													
	保育課				便所		S49	1	0													
	保育課				配膳室		S51	1	0													
	保育課																					
7	保育課	116	野見こども園	美里5丁目19番地	園舎	鉄筋コンクリート造	H5	1	0	1,655	○	○	○	○	-	○	-	1	-	-	-	-
	保育課							2	0													
8	保育課	121	平山こども園	平山町1丁目10番地1	保育室	鉄筋コンクリート造	S47	2	0	969	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
	保育課						S49	2	0													
9	保育課	122	藤敷こども園	豊栄町3丁目120番地	保育室	鉄骨造	S40	1	0	604	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	1
	保育課				管理室		S47	1	0													
	保育課				応接室		S52	1	0													
	保育課				管理棟		H3	1	0													
	保育課				遊戯室		S41	1	0													
	保育課				配膳室		S60	1	0													
	保育課				保育室		H27	1	0													
	保育課																					
10	保育課	123	宮口こども園	宮口町2丁目50番地	園舎	鉄骨造	H20	2	0	2,097	○	○	○	○	○	○	-	2	-	-	-	-
11	保育課	125	美和こども園	百々町9丁目43番地	保育室	鉄筋コンクリート造	S47	2	0	968	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
	保育課																					
12	保育課	126	山之手こども園	山之手1丁目78番地1	保育室	鉄筋コンクリート造	S44	2	0	1,049	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
	保育課				管理室			2	0													
	保育課				配膳室		S61	1	0													
	保育課																					
13	保育課	127	若林こども園	若林東町東山47番地1	園舎	鉄筋コンクリート造	H6	2	0	1,224	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	1
14	保育課	419	伊保こども園	保見町権堂坊28番地	園舎	鉄骨造	H10	2	0	1,958	○	○	○	○	○	○	2	-	-	-	-	-
15	保育課	421	今こども園	今町7丁目50番地2	園舎	鉄骨造	S60	1	0	415	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	保育課				保育室		H13	1	0													
16	保育課	423	梅坪こども園	梅坪町1丁目14番地1	園舎	鉄筋コンクリート造	S63	2	0	1,932	○	○	○	○	○	○	1	2	-	-	-	-
	保育課						H11	2	0													
17	保育課	424	永新こども園	永寛新町5丁目193番地	園舎	鉄骨造	S53	1	0	865	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	保育課				保育室		H26	1	0													
18	保育課	425	大畑こども園	篠原町片坂40番地6	園舎	鉄骨造	S48	1	0	855	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
19	保育課	426	大林こども園	大林町14丁目11番地13	園舎	鉄筋コンクリート造	S59	2	0	1,416	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
	保育課						H2	2	0													
20	保育課	428	上鷹見こども園	上高町古白344番地2	園舎	鉄筋コンクリート造	H8	1	0	458	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	1
21	保育課	429	越戸こども園	越戸町松葉52番地2	園舎	鉄骨造	H16	2	0	1,861	○	○	○	○	○	○	-	2	-	-	○	1
22	保育課	431	駒場こども園	駒場町新生69番地	園舎	鉄筋コンクリート造	S57	2	0	1,799	○	○	○	○	○	○	2	-	-	-	-	-
	保育課						H11	1	0													
23	保育課	436	高美こども園	若林西町長根64番地	園舎	鉄筋コンクリート造	S60	2	0	1,053	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
	保育課				長時間保育室			1	0													
	保育課				保育室		H26	1	0													
24	保育課	439	堤ヶ丘こども園	堤町道仙65番地	園舎	鉄筋コンクリート造	H7	1	0	1,014	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
25	保育課	441	透成こども園	西広瀬町清水30番地	園舎	鉄骨造	S46	1	0	395	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
26	保育課	442	渡刈こども園	渡刈町3丁目98番地	園舎	鉄骨造	H14	2	0	1,725	○	○	○	○	○	○	2	-	-	-	-	-
27	保育課	444	豊松こども園	豊松町狐塚120番地4	園舎	鉄骨造	S53	1	0	383	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
28	保育課	445	中金こども園	城見町須田口6番地	園舎	鉄骨造	S53	1	0	429	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-

NO	所管課	施設番号	施設名	代表所在地	用途名	家屋構造	建築年	地上階層	地下階層	施設床面積計	2項対象施設	4項対象施設	換気	給排水	非常照明	防火設備有無	防火戸	防火シャッター	スクリーン	可動垂壁	屋外広告物点検施設	屋外広告物数																		
29	保育課	446	中根山こども園	高岡本町双葉60番地	園舎	鉄骨造	S48	1	0	1,196	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-																		
	保育課						S61	1	0																															
	保育課							2	0																															
	保育課					便所	鉄骨造	H17	1														0																	
	保育課					保育室	鉄筋コンクリート造	H25	1														0																	
30	保育課	447	根川こども園	下林町7丁目41番地	園舎	鉄筋コンクリート造	S54	2	0	1,115	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-																		
31	保育課	448	ひかりこども園	矢並町大坪901番地2	園舎	鉄骨造	S57	1	0	501	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	1																		
32	保育課	449	東広瀬こども園	東広瀬町蔵屋敷19番地1	園舎	鉄筋コンクリート造	S62	2	0	938	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-																		
	保育課				保育室	軽量鉄骨ブレース造	R3	1	0																															
33	保育課	450	東山こども園	渋谷町3丁目978番地36	園舎	鉄筋コンクリート造	H4	2	0	1,530	○	○	○	○	○	○	-	1	-	-	-	-																		
	保育課				451	平井こども園	園舎	鉄骨造	S43														1	0																
保育課		S44	1	0																																				
保育課			1	0																																				
保育課		S56	1	0																																				
保育課		H4	1	0																																				
保育課		S56	1	0																																				
保育課	保育室	鉄筋コンクリート造	H25	1				0																																
35	保育課	452	広沢こども園	舞木町焼山1102番地23				園舎	鉄骨鉄筋コンクリート造	H11	1	0	1,385	○	○	○	○	○	○	-	2	-	-	-	-															
36	保育課	457	御船こども園	御船町山屋敷51番地1	園舎	鉄筋コンクリート造	S59	2	0	933	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-																		
37	保育課	460	若園こども園	中根町永池192番地18	園舎	鉄筋コンクリート造	S59	2	0	1,215	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-																		
38	保育課	462	若宮こども園	若宮町6丁目2番地5	園舎	鉄筋コンクリート造	S39	2	0	736	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-																		
39	保育課	1501	本地こども園	本地町2丁目51番地1	園舎	S63	2	0	1,173	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-																		
40	保育課	1780	高橋こども園	水間町4丁目155番地1	園舎	鉄筋コンクリート造	H1	2	0	921	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-																		
	保育課								2														0																	
41	保育課	2841	大沼こども園	大沼町船橋21番地	園舎	鉄筋コンクリート造	S51	1	0	867	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	1																		
	保育課				廊下・便所	鉄骨造	S60	1	0																															
	保育課				園舎		H10	1	0																															
	保育課				乳児室		H15	2	0																															
	保育課				園舎	鉄筋コンクリート造	S57	2	0																															
42	保育課	3120	中山こども園	西中山町蔵屋敷136番地1	園舎	鉄筋コンクリート造	S62	2	0	2,999	○	○	○	○	○	○	1	-	-	1	-	-																		
	保育課							H12	1														0																	
	保育課							S62	1														0																	
	保育課						鉄骨造	H20	1														0																	
	保育課							H22	1														0																	
	保育課						保育室	鉄骨造（ブレース構造）	R4														2	0																
	43						保育課	3121	石畳こども園														白川町大根1271番地1	園舎	鉄筋コンクリート造	H3	1	0	769	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
	保育課							H10	1														0																	
44	保育課	3123	飯野こども園	藤岡飯野町出口1122番地	園舎	鉄筋コンクリート造	H16	1	0	1,651	○	○	○	○	○	○	-	1	-	-	-	-																		
45	保育課	3185	木瀬こども園	木瀬町浜居場248番地1	園舎	鉄筋コンクリート造	S58	1	0	362	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-																		
46	保育課	3189	東部こども園	羽布町川合23番地2	園舎	木造	H1	1	0	695	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-																		
47	保育課	3202	小渡こども園	下切町下切10番地	園舎	木造	H13	1	0	704	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-																		
48	保育課	3204	杉本こども園	杉本町三斗成36番地	園舎	木造	H14	1	0	704	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-																		
49	保育課	3303	道慈こども園	乙ヶ林町下立122番地1	園舎	鉄骨造	S54	1	0	642	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-																		
50	保育課	3305	大草こども園	小原町北洞268番地2	園舎	鉄骨造	S57	1	0	687	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-																		
51	保育課	3330	稲武こども園	武節町神田101番地	園舎	鉄骨造	H4	1	0	1,187	○	○	○	○	○	○	2	-	-	-	-	-																		
	保育課							木造	1														0																	
52	保育課	3365	足助もみじこども園	岩神町築瀬25番地1	園舎		H17	1	0	1,372	○	○	○	○	○	○	-	4	-	-	○	1																		
53	保育課	3422	則定こども園	則定町前田5番地	遊戯室	軽量鉄骨造	H8	1	0	250	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-																		
	保育課						園舎	S53	1														0																	
54	保育課	3423	大蔵こども園	大蔵町本城13番地1	園舎	軽量鉄骨造	S51	1	0	211	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-																		
55	保育課	3424	冷田こども園	冷田町上冷田38番地	園舎	軽量鉄骨造	S51	1	0	211	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-																		
56	保育課	4104	益富こども園	志賀町箕平77番地1	園舎	鉄骨造	H19	2	0	2,071	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-																		
57	保育課	4638	松平こども園	九久平町築場52	園舎	鉄骨造	H25	2	0	1,862	○	○	○	○	○	○	-	-	3	-	-	-																		
58	保育課	4845	寺部こども園	上野町1丁目173	園舎	鉄骨造（S）	H28	2	0	2,322	○	○	○	○	○	○	6	-	-	-	-	-																		
	保育課							S49	2														0																	
	保育課							S54	1														0																	
	保育課							-	1														0																	
59	保育課	432	志賀子どもつとむの広場	志賀町香九丸1番地286	子育て支援施設		鉄骨造	-	1	0	1,076	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-																		
保育課																																								
60	保育課	459	柳川瀬子どもつとむの広場	欽部東町船場8番地1	園舎	鉄骨造	S51	1	0	499	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-																		
総計										64,589	60	60	60	60	36	15	16	15	3	1	8	9																		

## 点検結果表

当該点検に 関与した点 検者		氏 名	点検者番号
	代表となる点検者		
	その他の点検者		

番号	調 査 項 目		対象 外項目	点検結果			担当 点検者 番号
				指摘 なし	要是正	既 存 不適格	
<b>1</b>	<b>敷地及び地盤</b>						
(1)	地盤	地盤沈下等による不陸、傾斜等の状況					
(2)	敷地	敷地内の排水の状況					
(3)	敷地内の通路	敷地内の通路の確保の状況					
(4)		有効幅員の確保の状況					
(5)		敷地内の通路の支障物の状況					
(6)	塀	組積造の塀又は補強コンクリートブロック造の塀等の耐震対策の状況					
(7)		組積造の塀又は補強コンクリートブロック造の塀等の劣化及び損傷の状況					
(8)	擁壁	擁壁の劣化及び損傷の状況					
(9)		擁壁の水抜きパイプの維持保全の状況					
※(10)	屋外機器等（配電塔、電力灯引込柱、外灯等）	機器本体の劣化及び損傷の状況					
※(11)		支持部分等の劣化及び損傷の状況					
※(12)	空地、通路等の管理の状況	道路として利用上の障害物当はないか					
※(13)		空地、通路等の管理は適切か					
※(14)	舗装等の劣化及び損傷状況	舗装等にひび割れ、段差等はないか					
※(15)	フェンス等	フェンス等の劣化及び損傷の状況					
※(16)	土留め等	土留め等の劣化及び損傷の状況					
<b>2</b>	<b>建築物の外部</b>						
(1)	基礎	基礎の沈下等の状況					
(2)		基礎の劣化及び損傷の状況					
(3)	土台（木造に限る。）	土台の沈下等の状況					
(4)		土台の劣化及び損傷の状況					
(5)	外 壁	躯体等	外壁、軒裏及び外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の防火対策の状況				
(6)			木造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況				
(7)			組積造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況				
(8)			補強コンクリートブロック造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況				
(9)			鉄骨造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況				
(10)			鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況				
(11)		外装仕上げ材等	タイル、石貼り等（乾式工法によるものを除く。）、モルタル等の劣化及び損傷の状況				
(12)			乾式工法によるタイル、石貼り等の劣化及び損傷の状況				
(13)			金属系パネル（帳壁を含む。）の劣化及び損傷の状況				
(14)			コンクリート系パネル（帳壁を含む。）の劣化及び損傷の状況				
(15)	窓サッシ等		サッシ等の劣化及び損傷の状況				
(16)			はめ殺し窓のガラスの固定の状況				
(17)	外壁に緊結された広告板、空調室外機等		機器本体の劣化及び損傷の状況				
(18)			支持部分等の劣化及び損傷の状況				
※(19)	シーリング材等の劣化及び損傷の状況		シーリング材の界面剥離、弾力低下等はないか				
※(20)	軒樋、塀樋等		軒樋、塀樋等（掴み金物含む）の劣化及び損傷、詰まりの状況				
<b>3</b>	<b>屋上及び屋根</b>						
(1)	屋上面	屋上面の劣化及び損傷の状況					
(2)	屋上周り（屋上面を除く。）	パラペットの立上り面の劣化及び損傷の状況					
(3)		笠木モルタル等の劣化及び損傷の状況					
(4)		金属笠木の劣化及び損傷の状況					
(5)		排水溝（ドレーンを含む。）の劣化及び損傷の状況					
(6)	屋根	屋根の防火対策の状況					
(7)		屋根の劣化及び損傷の状況					
(8)	機器及び工作物（冷却等設備、広告塔等）	機器、工作物本体及び接合部の劣化及び損傷の状況					
(9)		支持部分等の劣化及び損傷の状況					
※(10)	露出防水層の劣化及び損傷状況		防水層に膨れ、ひび割れ、破断等はないか				
※(11)	出入口の状況		屋上の出入口の管理状況は適切か				
<b>4</b>	<b>建築物の内部</b>						
(1)	防 火 区 画	令第112条第11項から第13項までに規定する区画の状況					
(2)		令第112条第1項、第4項、第5項又は第7項から第10項までの各項に規定する区画の状況					
(3)		令第112条第18項に規定する区画の状況					
(4)		防火区画の外周部	令第112条第16項に規定する外壁等及び同条第17項に規定する防火設備の処置の状況				
(5)			令第112条第16項に規定する外壁等及び同条第17項に規定する防火設備の劣化及び損傷の状況				

(6)	壁の室内に面する部分	躯体等	木造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況						
(7)			組積造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況						
(8)			補強コンクリートブロック造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況						
(9)			鉄骨造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況						
(10)			鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況						
(11)		耐火構造の壁又は準耐火構造の壁（防火区画を構成する壁等に限る。）	準耐火性能等の確保の状況						
(12)			部材の劣化及び損傷の状況						
(13)			鉄骨の耐火被覆の劣化及び損傷の状況						
(14)			給水管、配電管その他の管又は風道の区画貫通部の充填等の処理の状況						
(15)			令第114条に規定する界壁、間仕切壁及び隔壁						
(16)		令第128条の5各項に規定する建築物の壁の室内に面する部分	室内に面する部分の仕上げの維持保全の状況						
(17)	床	躯体等	木造の床躯体の劣化及び損傷の状況						
(18)			鉄骨造の床躯体の劣化及び損傷の状況						
(19)			鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の床躯体の劣化及び損傷の状況						
(20)		耐火構造の床又は準耐火構造の床（防火区画を構成する床に限る。）	準耐火性能等の確保の状況						
(21)			部材の劣化及び損傷の状況						
(22)			給水管、配電管その他の管又は風道の区画貫通部の充填等の処理の状況						
(23)	天井	令第128条の5各項に規定する建築物の天井の室内に面する部分	室内に面する部分の仕上げの維持保全の状況						
(24)			室内に面する部分の仕上げの劣化及び損傷の状況						
(25)		特定天井	特定天井の天井材の劣化及び損傷の状況						
(26)	防火設備（防火扉、防火シャッターその他これらに類するものに限る。）又は戸		区画に対応した防火設備又は戸の設置の状況						
(27)			居室から地上へ通じる主たる廊下、階段その他の通路に設置された防火設備又は戸におけるくぐり戸の設置の状況						
(28)			昭和48年建設省告示第2563号第1第1号口に規定する基準についての適合の状況						
(29)			防火扉又は戸の開放方向						
(30)			常閉防火設備等の本体と枠の劣化及び損傷の状況						
(31)			常閉防火設備等の閉鎖又は作動の状況						
(32)			常閉防火設備等の閉鎖又は作動の障害となる物品の放置の状況						
(33)			常閉防火扉等の固定の状況						
(34)		照明器具、懸垂物等	照明器具、懸垂物等の落下防止対策の状況						
(35)			防火設備又は戸の閉鎖の障害となる照明器具、懸垂物等の状況						
(36)		警報装置	警報装置の設置の状況						
(37)			警報装置の劣化及び損傷の状況						
(38)		居室の採光及び換気	採光のための開口部の面積の確保の状況						
(39)			採光の妨げとなる物品の放置の状況						
(40)			換気のための開口部の面積の確保の状況						
(41)			換気設備の設置の状況						
(42)			換気設備の作動の状況						
(43)			換気の妨げとなる物品の放置の状況						
(44)	石綿等を添加した建築材料		吹付け石綿及び吹付けロックウールでその含有する石綿の重量が当該建築材料の重量の0.1パーセントを超えるもの（以下「吹付け石綿等」という。）の使用の状況						
(45)			吹付け石綿等の劣化の状況						
(46)			除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止措置の実施の状況						
(47)			囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及び損傷の状況						
※(48)		収納物の状況	防火戸に接近しすぎていないか						
※(49)		雨漏りの状況	外壁から雨漏りはないか						
※(50)			屋上部から雨漏りはないか						
※(51)		地下室への漏水の状況	地下室に外壁等からの漏水はないか						
※(52)		内部建具等	内部建具等の劣化及び損傷の状況						
<b>5 避難施設等</b>									
(1)	令第120条第2項に規定する通路		令第120条第2項に規定する通路の確保の状況						
(2)	廊下		幅員の確保の状況						
(3)			物品の放置の状況						
(4)	出入口		出入口の確保の状況						
(5)			物品の放置の状況						
(6)	屋上広場		屋上広場の確保の状況						
(7)	避難上有効なバルコニー		避難上有効なバルコニーの確保の状況						
(8)			手すり等の劣化及び損傷の状況						
(9)			物品の放置の状況						
(10)			避難器具の操作性の確保の状況						

(11)	階段	階段	直通階段の設置の状況						
(12)			幅員の確保の状況						
(13)			手すりの設置の状況						
(14)			物品の放置の状況						
(15)			階段各部の劣化及び損傷の状況						
(16)			屋内に設けられた避難階段	階段室の構造の状況					
(17)			屋外に設けられた避難階段	屋内と階段との間の防火区画の確保の状況					
(18)				開放性の確保の状況					
(19)		特別避難階段		バルコニー又は付室の構造及び面積の確保の状況					
(20)				付室等の排煙設備の設置の状況					
(21)				付室等の排煙設備の作動の状況					
(22)				付室等の外気に向かって開くことができる窓の状況					
(23)				物品の放置の状況					
(24)	排煙壁			防煙区画の設置の状況					
(25)			防煙壁の劣化及び損傷の状況						
(26)			可動式防煙壁の作動の状況						
(27)	排煙設備		排煙設備の設置の状況						
(28)			排煙設備の作動の状況						
(29)			排煙口の維持保全の状況						
(30)	その他の設備等	非常用の進入口等	非常用の進入口等の設置の状況						
(31)			非常用の進入口等の維持保全の状況						
(32)		非常用エレベーター	乗降ロビーの構造及び面積の確保の状況						
(33)				乗降ロビー等の排煙設備の設置の状況					
(34)				乗降ロビー等の排煙設備の作動の状況					
(35)				乗降ロビー等の外気に向かって開くことができる窓の状況					
(36)			物品の放置の状況						
(37)			非常用エレベーターの作動の状況						
(38)		非常用の照明装置	非常用の照明装置の設置の状況						
(39)				非常用の照明装置の作動の状況					
(40)			照明の妨げとなる物品の放置の状況						
6 その他									
(1)	等特殊な構造	膜構造建築物の膜体、取付部材等	膜体及び取付部材の劣化及び損傷の状況						
(2)			膜張力及びケーブル張力の状況						
(3)		免震構造建築物の免震層及び免震装置	免震装置の劣化及び損傷の状況（免震装置が可視状態にある場合に限る。）						
(4)			上部構造の可動の状況						
(5)	避雷設備		避雷針、避雷導線等の劣化及び損傷の状況						
(6)	煙突	建築物に設ける煙突	煙突本体及び建築物との接合部の劣化及び損傷の状況						
(7)			付帯金物の劣化及び損傷の状況						
(8)		令第138条第1項第1号に掲げる煙突	煙突本体の劣化及び損傷の状況						
(9)			付帯金物の劣化及び損傷の状況						
※(10)	自動回転ドア	自動回転ドアの維持保全状況	自動回転ドアに異常、損傷はないか						
※(11)			自動回転ドア周辺の監視や安全な通行に関する表示等はあるか						
※(12)			危険領域に防護柵やガードはあるか						
※(13)			接触センサーは作動するか						
※(14)			定期的な点検は実施しているか						
7 上記以外の点検項目									
その他確認事項									
法第12条第3項の規定による検査を要する防火設備の有無				□有（      階）      □無					
特記事項									
番号	点検項目等		指摘の具体的内容等		改善策の具体的内容等				改善（予定）年月

- (注意)
- ① この書類は、特殊建築物等ごとに作成してください。
  - ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
  - ③ 「当該点検に関与した点検者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の2様式第一面3欄に記入した点検者について記入し、「点検者番号」欄に点検者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築物の点検を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は削除して構いません。
  - ④ 該当しない点検項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当点検者番号」欄までを取消線で抹消してください。
  - ⑤ 「点検結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各点検項目ごとに記入してください。
  - ⑥ 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる点検項目について（は）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
  - ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
  - ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
  - ⑨ 「担当点検者番号」欄は、「点検に関与した点検者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築物の点検を行った点検者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
  - ⑩ 7「上記以外の点検項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が点検項目を追加したときに、特定行政庁が追加した点検項目を追加し、⑤から⑧に準じて点検結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、7は削除して構いません。
  - ⑪ 「その他確認事項」は、法第12条第3項の規定による検査を要する随時閉鎖又は作動ができる防火設備の設置の有無を確認し、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れる、若しくは黒く塗りつぶしてください。「有」の場合は、当該防火設備が設置されている階を記入してください。
  - ⑫ 「特記事項」は、点検の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合であっても特記すべき事項がある場合に、該当する点検項目の番号、点検項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
  - ⑬ 配置図及び各階平面図を別添1の様式に従い添付し、指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所や撮影した写真の位置等を明記してください。
  - ⑭ 要是正とされた点検項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付してください。



点検結果表  
(換気設備)

当該点検に関与した点検者		氏 名	点検者番号			
	代表となる点検者					
	その他の点検者					

番号	検 査 項 目 等		対象 外項目	点検結果			担当 点検者 番号
				指摘 なし	要是正	既 存 不適格	

1

法第28条第2項又は第3項の規定に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）

(1)	機械換気設備	機械換気設備（中央管理方式の空気調和設備を含む。）の外観	給気機の外気取り入れ口並びに直接外気に開放された給気口及び排気口への雨水等の防止措置の状況					
(2)			給気機の外気取り入れ口及び排気機の排気口の取付けの状況					
(3)			各居室の給気口及び排気口の設置位置					
(4)			各居室の給気口及び排気口の取付けの状況					
(5)			風道の取付けの状況					
(6)			風道の材質					
(7)			給気機又は排気機の設置の状況					
(8)			換気扇による換気の状況					
(9)			機械換気設備（中央管理方式の空気調和設備を含む。）の性能	各居室の換気量				
(10)	中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況							
(11)	空気調和設備の設置の状況							
(12)	中央管理方式の空気調和設備	空気調和設備の主要機器及び配管の外観	空気調和設備及び配管の劣化及び損傷の状況					
(13)			空気調和設備の運転の状況					
(14)			空気ろ過器の点検口					
(15)			冷却塔と建築物の他の部分との離隔距離					
(16)			空気調和設備の性能	各居室内の温度				
(17)				各居室内の相対湿度				
(18)				各居室の浮遊粉じん量				
(19)				各居室の一酸化炭素含有率				
(20)				各居室の二酸化炭素含有率				
(21)	各居室の気流							

2

換気設備を設けるべき調理室等

(1)	自然換気設備及び機械換気設備	排気筒、排気フード及び煙突の材質					
(2)		排気筒、排気フード及び煙突の取付けの状況					
(3)		給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の大きさ					
(4)		給気口、排気口及び排気フードの位置					
(5)		給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の設置の状況					
(6)		排気筒及び煙突の断熱の状況					
(7)		排気筒及び煙突と可燃物、電線等との離隔距離					
(8)		煙突等への防火ダンパー、風道等の設置の状況					
(9)		自然換気設備	煙突の先端の立ち上がりの状況（密閉型燃焼器具の煙突を除く。）				
(10)	機械換気設備	煙突に連結した排気筒及び半密閉式瞬間湯沸器等の設置の状況					
(11)		換気扇による換気の状況					
(12)		給気機又は排気機の設置の状況					
(13)		機械換気設備の換気量					

3

法第28条第2項又は第3項の規定に基づき換気設備が設けられた居室

(1)	防火ダンパー等（外壁の開口部で延焼のおそれのある部分に設けるものを除く。）	防火ダンパーの設置の状況					
(2)		防火ダンパーの取付けの状況					
(3)		防火ダンパーの作動の状況					
(4)		防火ダンパーの劣化及び損傷の状況					
(5)		防火ダンパーの点検口の有無及び大きさ並びに点検口の有無					
(6)		防火ダンパーの温度ヒューズ					
(7)		壁及び床の防火区画貫通部の措置の状況					
(8)		連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器の位置					
(9)		連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器との連動の状況					

4

上記以外の点検項目等


特記事項

番号	点検項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該点検に関与した点検者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の4様式第二面4欄に記入した点検者について記入し、「点検者番号」欄に点検者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の点検を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は削除して構いません。
- ④ 点検対象建築物に換気設備がない場合は、この様式は省略して構いません。
- ⑤ 該当しない点検項目等がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当点検者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑥ 「点検結果」欄は、別表第一（ろ）欄に掲げる各点検事項ごとに記入してください。
- ⑦ 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第一（ろ）欄に掲げる点検事項について同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑦に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑩ 「担当点検者番号」欄は、「点検に関与した点検者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の点検を行った点検者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑪ 1 (9)「各居室の換気量」については、法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）の換気状況評価表（別表1）を添付してください。
- ⑫ 2 (12)「機械換気設備の換気量」については、換気設備を設けるべき調理室等の換気風量測定表（別表2）を添付してください。
- ⑬ 4「上記以外の点検項目等」は、第2ただし書の規定により特定行政庁が点検項目等を追加したとき又は第2第2項の規定により点検方法を記載した図書があるときに、特定行政庁が追加した点検項目等又は第2第2項に規定する図書に記載されている点検項目等を追加し、⑥から⑨に準じて点検結果等を記入してください。なお、これらの項目等がない場合は、4は削除して構いません。
- ⑭ 「特記事項」は、点検の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する点検項目等の番号、点検項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑮ 要是正とされた点検項目等（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

別紙E-2-1 法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）の換気状況評価表（A 4）

測定年月日	測定機器 メーカー名	型式番号等			
階	室名	必要換気量（m <sup>3</sup> /h）	換 気 方 式	換気設備機種名*注1	換気状況の評価*注2
			一種 ・ 二種 ・ 三種		指摘なし・要是正
			一種 ・ 二種 ・ 三種		指摘なし・要是正
			一種 ・ 二種 ・ 三種		指摘なし・要是正
			一種 ・ 二種 ・ 三種		指摘なし・要是正
			一種 ・ 二種 ・ 三種		指摘なし・要是正
			一種 ・ 二種 ・ 三種		指摘なし・要是正
			一種 ・ 二種 ・ 三種		指摘なし・要是正
			一種 ・ 二種 ・ 三種		指摘なし・要是正
			一種 ・ 二種 ・ 三種		指摘なし・要是正
			一種 ・ 二種 ・ 三種		指摘なし・要是正

注1) 室ごとに単独の換気扇がある場合など、換気設備が特定されている場合は、その名称を記入する。  
注2) 「換気状況の評価」欄には、外気取り入れ口における風量測定を行うことが最も確実であり、換気量測定を行った場合は、その測定結果を記入する。これに代わる方法として、各室の二酸化炭素濃度の測定を行い、居住者数と測定値に矛盾がないか確認する等を行った場合には、その結果を記入する。

別紙E-2-2 換気設備を設けるべき調理室等の換気風量測定表（A 4）

測定年月日			測定機器 メーカー名			型式番号等		
室番（場所）	使用器具	発熱量(kW)	換気型式(n)	必要換気量（m <sup>3</sup> /h）	開口面積（m <sup>2</sup> ）	測定風速*注（m/s）	測定風量（m <sup>3</sup> /h）	判 定
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正

注) 「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。

## 点検結果表

(排煙設備)

当該点検に関与した点検者		氏 名		点検者番号				
		代表となる点検者	その他の点検者					
番号	検 査 項 目 等			対象 外項目	点検結果		担当 点検者 番号	
					指摘 なし	要是正 既 存 不適格		
1	令第123条第3項第2号に規定する階段室又は付室、令第129条の13の3第13項に規定する昇降路又は乗降ロビー、令第126条の2第1項に規定する居室等							
(1)	排煙機	排煙機の外観	排煙機の設置の状況					
(2)			排煙風道との接続の状況					
(3)			煙排出口の設置の状況					
(4)			煙排出口の周囲の状況					
(5)			屋外に設置された煙排出口への雨水等の防止措置の状況					
(6)		排煙機の性能	排煙口の開放と連動起動の状況					
(7)			作動の状況					
(8)			電源を必要とする排煙機の予備電源による作動の状況					
(9)			排煙機の排煙風量					
(10)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況					
(11)	排煙口	機械排煙設備の排煙口の外観	排煙口の位置					
(12)			排煙口の周囲の状況					
(13)			排煙口の取付けの状況					
(14)			手動開放装置の周囲の状況					
(15)			手動開放装置の操作方法の表示の状況					
(16)		機械排煙設備の排煙口の性能	手動開放装置による開放の状況					
(17)			排煙口の開放の状況					
(18)			排煙口の排煙風量					
(19)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況					
(20)			煙感知器による作動の状況					
(21)	排煙風道	機械排煙設備の排煙風道（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	排煙風道の劣化及び損傷の状況					
(22)			排煙風道の取付けの状況					
(23)			排煙風道の材質					
(24)			防煙壁の貫通措置の状況					
(25)			排煙風道と可燃物、電線等との離隔距離及び断熱の状況					
(26)		防火ダンパー（外壁の開口部で延焼のおそれのある部分に設けるものを除く。）	防火ダンパーの取付けの状況					
(27)			防火ダンパーの作動の状況					
(28)			防火ダンパーの劣化及び損傷の状況					
(29)			防火ダンパーの点検口の有無及び大きさ並びに検査口の有無					
(30)			防火ダンパーの温度ヒューズ					
(31)			壁及び床の防火区画貫通部の措置の状況					
(32)			特殊な構造の排煙設備	排煙口及び給気口の大きさ及び位置				
(33)				排煙口及び給気口の周囲の状況				
(34)	排煙口及び給気口の取付けの状況							
(35)	手動開放装置の周囲の状況							
(36)	手動開放装置の操作方法の表示の状況							
(37)	特殊な構造の排煙設備の排煙口の性能	排煙口の排煙風量						
(38)		中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況						
(39)		煙感知器による作動の状況						
(40)	特殊な構造の排煙設備の給気風道（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	給気風道の劣化及び損傷の状況						
(41)		給気風道の材質						
(42)		給気風道の取付けの状況						
(43)		防煙壁の貫通措置の状況						
(44)	特殊な構造の排煙設備の給気送風機の外観	給気送風機の設置の状況						
(45)		給気風道との接続の状況						
(46)	特殊な構造の排煙設備の給気送風機の性能	排煙口の開放と連動起動の状況						
(47)		作動の状況						
(48)		電源を必要とする給気送風機の予備電源による作動の状況						
(49)		給気送風機の給気風量						
(50)		中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況						
(51)		特殊な構造の排煙設備の給気送風機の吸込口	吸込口の設置位置					
(52)			吸込口の周囲の状況					
(53)	屋外に設置された吸込口への雨水等の防止措置の状況							
2	令第123条第3項第2号に規定する階段室又は付室、令第129条の13の3第13項に規定する昇降路又は乗降ロビー							
(1)	特別避難階段の階段室又は付室及び非常用エレベーターの昇降路又は乗降ロビーに設ける排煙口及び給気口	排煙機、排煙口及び給気口の作動の状況						
(2)		給気口の周囲の状況						
(3)	加圧防排煙設備	排煙風道（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	排煙風道の劣化及び損傷の状況					
(4)			排煙風道の取付けの状況					
(5)			排煙風道の材質					
(6)			給気口の外観	給気口の周囲の状況				
(7)				給気口の取付けの状況				
(8)		給気口の手動開放装置の周囲の状況						
(9)		給気口の性能	給気口の手動開放装置の操作方法の表示の状況					
(10)			給気口の手動開放装置による開放の状況					
(11)			給気口の開放の状況					

(12)	給気風道（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	給気風道の劣化及び損傷の状況					
(13)		給気風道の取付けの状況					
(14)		給気風道の材質					
(15)	給気送風機の外観	給気送風機の設置の状況					
(16)	給気送風機の性能	給気風道との接続の状況					
(17)		給気口の開放と連動起動の状況					
(18)		給気送風機の作動の状況					
(19)		電源を必要とする給気送風機の予備電源による作動の状況					
(20)		中央管理室における制御及び動作状態の監視の状況					
(21)	給気送風機の吸込口	吸込口の設置位置					
(22)		吸込口の周囲の状況					
(23)		屋外に設置された吸込口への雨水等の防止措置の状況					
(24)	遮煙開口部の性能	遮煙開口部の排出風速					
(25)	空気逃し口の外観	空気逃し口の大きさ及び位置					
(26)		空気逃し口の周囲の状況					
(27)		空気逃し口の取付けの状況					
(28)	空気逃し口の性能	空気逃し口の作動の状況					
(29)	圧力調整装置の外観	圧力調整装置の大きさ及び位置					
(30)		圧力調整装置の周囲の状況					
(31)		圧力調整装置の取付けの状況					
(32)	圧力調整装置の性能	圧力調整装置の作動の状況					
<b>3 令第126条の2第1項に規定する居室等</b>							
(1)	可動防煙壁	手動降下装置の作動の状況					
(2)		手動降下装置による連動の状況					
(3)		煙感知器による連動の状況					
(4)		可動防煙壁の材質					
(5)		可動防煙壁の防煙区画					
(6)		中央管理室における制御及び動作状態の監視の状況					
<b>4 予備電源</b>							
(1)	自家用発電装置	自家用発電機室の防火区画等の貫通措置の状況					
(2)		発電機の発電容量					
(3)		発電機及び原動機の状況					
(4)		燃料油、潤滑油及び冷却水の状況					
(5)		始動用の空気槽の圧力					
(6)		セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況					
(7)		燃料及び冷却水の漏洩の状況					
(8)		計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況					
(9)		自家用発電装置の取付けの状況					
(10)		自家用発電機室の給排気の状況(屋内に設置されている場合に限る)					
(11)		接地線の接続の状況					
(12)		絶縁抵抗					
(13)	自家用発電装置の性能	電源の切替えの状況					
(14)		始動の状況					
(15)		運転の状況					
(16)		排気の状況					
(17)		コンプレッサー、燃料ポンプ、冷却水ポンプ等の補機類の作動の状況					
(18)	直結エンジン	直結エンジンの設置の状況					
(19)		燃料油、潤滑油及び冷却水の状況					
(20)		セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況					
(21)		計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況					
(22)		給気部及び排気管の取付けの状況					
(23)		Vベルト					
(24)		接地線の接続の状況					
(25)		絶縁抵抗					
(26)	直結エンジンの性能	始動及び停止並びに運転の状況					
<b>5 上記以外の点検項目等</b>							
<b>特記事項</b>							
番号	点検項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等				改善（予定）年月

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該点検に関与した点検者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の4様式第二面8欄に記入した点検者について記入し、「点検者番号」欄に点検者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の点検を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は削除して構いません。
- ④ 点検対象建築物に排煙設備がない場合は、この様式は省略して構いません。
- ⑤ 該当しない点検項目等がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当点検者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑥ 「点検結果」欄は、別表第二(ろ)欄に掲げる各点検事項ごとに記入してください。
- ⑦ 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第二(ろ)欄に掲げる点検事項について同表(に)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑦に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑩ 「担当点検者番号」欄は、「点検に関与した点検者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の点検を行った点検者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑪ 1(9)「排煙機の排煙風量」及び1(18)「排煙口の排煙風量」については、排煙風量測定記録表(別表3)を添付してください。
- ⑫ 1(37)「排煙口の排煙風量」及び1(49)「給気送風機の給気風量」については、排煙風量測定記録表(別表3-2)を添付してください。
- ⑬ 2(24)「遮煙開口部の排出風速」については、排煙風量測定記録表(別表3-3)を添付してください。
- ⑭ 5「上記以外の点検項目等」は、第2ただし書の規定により特定行政庁が点検項目等を追加したとき又は第2第2項の規定により点検の方法を記載した図書があるときに、特定行政庁が追加した点検項目等又は第2第2項の規定する図書に記載されている点検項目等を追加し、⑥から⑨に準じて点検結果等を記入してください。なお、これらの項目等がない場合は、5は削除して構いません。
- ⑮ 「特記事項」は、点検の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっては特記すべき事項がある場合に、該当する点検項目等の番号、点検項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を( )書きで記入してください。
- ⑯ 要是正とされた点検項目等(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

別紙E-3-1 排煙風量測定記録表（A 4）\*注1）

測定年月日		測定機器 メーカー名		型式番号等			
1	排煙機系統(機器番号等)		排煙機銘板表示	排煙機の規定風量			
				最大防煙区画面積      m <sup>2</sup> × 1 or 2      =      m <sup>3</sup> /min			
2	排 煙 口						判 定
	階	室 名	排煙口面積 (m <sup>2</sup> )	測定風速 (m/s)*注2)	測定風量 (m <sup>3</sup> /min)	規定風量 (m <sup>3</sup> /min)	
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正
3	排 煙 機						判 定
	排煙機 (番号等)	煙排出口面積 (m <sup>2</sup> )	測定風速 (m/s)*注2)	測定風量 (m <sup>3</sup> /min)	規定風量 (m <sup>3</sup> /min)		
							指摘なし・要是正
4	直結エンジン（内燃エンジン）の有無		予備電源又は直結エンジン切り替え				
	有 ・ 無		指摘なし・要是正				
5	排煙系統図 (排煙機と排煙口の対応関係がわかる図を記入すること)						

注1) 本記録表は、排煙機系統ごとに記入する。  
注2) 「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。  
注3) 自主点検等による排煙風量測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、測定値等が適正であるか否かを判定すること。



別紙E-3-2 排煙風量測定記録表（A 4） 給気式（特殊な構造の排煙設備）

測定年月日		測定機器 メーカー名		型式番号等	
1	給気送風機系統(機器番号等)		給気送風機銘板表示	給気送風機の性能（風量）	
				m <sup>3</sup> /min	

2	排 煙 口						判 定
	階	室 名	排煙口面積 (m <sup>2</sup> )	測定風速 (m/s)*注1)	測定風量 (m <sup>3</sup> /min)	規定風量 (m <sup>3</sup> /min)	
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正

3	直結エンジン（内燃エンジン）の有無	予備電源又は直結エンジン切り替え
	有 ・ 無	指摘なし・要是正

4	排煙系統図 （給気送風機と排煙口の対応関係がわかる図を記入すること）

- 注1) 「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。
- 注2) 自主点検等による排煙風量測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、測定値等が適正であるか否かを判定すること。

別紙E-3-3 排煙風量測定記録表（A 4） 加圧式（加圧防排煙設備）

測定年月日		測定機器 メーカー名		型式番号等	
1	給気送風機系統(機器番号等)		給気送風機銘板表示	給気送風機の性能(風量)	
				m <sup>3</sup> /min	

	遮煙開口部・空気逃し口							判 定
	階	室 名	空気逃し口の方式*注1)	測定排煙風速*注2 (m/s)	規定排出風速*注3 (m/s)	算定式*注3)	遮煙開口部の高さ(m)	
2			1. 自然方式 <input type="checkbox"/> 2. 機械方式 <input type="checkbox"/> 3. 併用方式 <input type="checkbox"/>					指摘なし・要是正
			1. 自然方式 <input type="checkbox"/> 2. 機械方式 <input type="checkbox"/> 3. 併用方式 <input type="checkbox"/>					指摘なし・要是正
			1. 自然方式 <input type="checkbox"/> 2. 機械方式 <input type="checkbox"/> 3. 併用方式 <input type="checkbox"/>					指摘なし・要是正
			1. 自然方式 <input type="checkbox"/> 2. 機械方式 <input type="checkbox"/> 3. 併用方式 <input type="checkbox"/>					指摘なし・要是正

3	直結エンジン (内燃エンジン)の有無	予備電源又は直結エンジン 切り替え
	有 ・ 無	指摘なし・要是正

4	排煙系統図 (給気送風機と空気逃し口の対応関係がわかる図を記入すること)

- 注1) 「空気逃し口の方式」欄には、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れる。
- 注2) 「測定排出風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。
- 注3) 隣接室を区画する当該区画の仕様及び隣接室の仕様に応じて、規定排出風速Vの算定式を以下の①から③のいずれかを選択し、「算定式」欄に記入する。また、当該算定式により排出風速を算出し、「規定排出風速」欄に記入する。この場合において、Vは排出風速、Hは遮煙開口部の高さを表す。
- ①  $V=2.7\sqrt{H}$  ②  $V=3.3\sqrt{H}$  ③  $V=3.8\sqrt{H}$
- 注4) 自主点検等による風速測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、測定値等が適正であるか否かを判定すること。

点検結果表  
(非常用の照明装置)

当該点検に関与した点検者		氏 名	点検者番号
	代表となる点検者		
	その他の点検者		

番号	検 査 項 目 等		対象 外 項 目	点検結果			担当 点検者 番号
				指摘 なし	要是正		
					既 存	不 適格	
1	照明器具						
(1)	非常用の照	使用電球、ランプ等					
(2)	明器具	照明器具の取付けの状況					
2	電池内蔵形の蓄電池、電源別置形の蓄電池及び自家用発電装置						
(1)	予備電源	予備電源への切替え及び器具の点灯の状況並びに予備電源の性能					
(2)	照度	照度の状況					
(3)	分電盤	非常用電源分岐回路の表示の状況					
(4)	配線	配電管等の防火区画貫通措置の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）					
3	電源別置形の蓄電池及び自家用発電装置						
(1)	配線	照明器具の取付状況及び配線の接続の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）					
(2)		電気回路の接続の状況					
(3)		接続部（幹線分岐及びボックス内に限る。）の耐熱処理の状況					
(4)		予備電源から非常用の照明器具間の耐熱処理の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）					
(5)	切替回路	常用の電源から蓄電池設備への切替えの状況					
(6)		蓄電池設備と自家用発電装置併用の場合の切替えの状況					
4	電池内蔵形の蓄電池						
(1)	配線及び充 電ランプ	充電ランプの点灯の状況					
(2)		誘導灯及び非常用照明兼用器具の専用回路の確保の状況					
5	電源別置形の蓄電池						
(1)	蓄電池	蓄電池等の状況	蓄電池室の防火区画等の貫通措置の状況				
(2)			蓄電池室の換気の状況				
(3)			蓄電池の設置の状況				
(4)	蓄電池の性能		電圧				
(5)			電解液比重				
(6)			電解液の温度				
(7)	充電器	充電器室の防火区画等の貫通措置の状況					
(8)			キュービクルの取付けの状況				
6	自家用発電装置						
(1)	自家用発電装置	自家用発電装置の状況	自家用発電機室の防火区画等の貫通措置の状況				
(2)			発電機の発電容量				
(3)			発電機及び原動機の状況				
(4)			燃料油、潤滑油及び冷却水の状況				
(5)			始動用の空気槽の圧力				
(6)			セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況				
(7)			燃料及び冷却水の漏洩の状況				
(8)			計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況				
(9)			自家用発電装置の取付けの状況				
(10)			自家用発電機室の給排気の状況（屋内に設置されている場合に限る。）				
(11)			接地線の接続の状況				
(12)			絶縁抵抗				
(13)		自家用発電装置の性能	電源の切替えの状況				
(14)			始動の状況				
(15)			運転の状況				
(16)			排気の状況				
(17)	コンプレッサー、燃料ポンプ、冷却水ポンプ等の補機類の作動の状況						

7	上記以外の点検項目等						

特記事項				
番号	点検項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該点検に関与した点検者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の4様式第二面12欄に記入した点検者について記入し、「点検者番号」欄に点検者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の点検を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は削除して構いません。
- ④ 点検対象建築物に非常用の照明装置がない場合は、この様式は省略して構いません。
- ⑤ 該当しない点検項目等がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当点検者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑥ 「点検結果」欄は、別表第三(ろ)欄に掲げる各点検事項ごとに記入してください。
- ⑦ 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第三(ろ)欄に掲げる点検事項について同表(に)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑩ 「担当点検者番号」欄は、「点検に関与した点検者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の点検を行った点検者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑪ 2(2)「照度」については、非常用の照明装置の照度測定表(別表4)を添付してください。
- ⑫ 7「上記以外の点検項目等」は、第2ただし書の規定により特定行政庁が点検項目等を追加したとき又は第2第2項の規定により点検の方法を記載した図書があるときに、特定行政庁が追加した点検項目等又は第2第2項に規定する図書に記載されている点検項目等を追加し、⑥から⑨に準じて点検結果等を記入してください。なお、これらの項目等がない場合は、7は削除して構いません。
- ⑬ 「特記事項」は、点検の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する点検項目等の番号、点検項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を( )書きで記入してください。
- ⑭ 要是正とされた点検項目等(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

別紙E-4-1 非常用の照明装置の照度測定表（A 4）

測定年月日		測定機器	メーカー名		型式番号等	
光源の種類		最低照度の測定場所		最低照度（lx）		判定
		階	部屋・廊下等			
白熱灯						指摘なし・要是正
蛍光灯						指摘なし・要是正
その他（ ）						指摘なし・要是正

(別紙)

階別	測定場所	測定位置 <sup>*注1</sup>	光源の種類 <sup>*注2</sup>	照度（lx）

注 1) 「測定位置」欄には、「出入口付近」、「右壁中央付近」のように明記する。  
注 2) 「光源の種類」欄には、白熱灯、蛍光灯、その他の別及び電池内蔵のものにあっては、（内）と付す。

**点検結果表**  
(給水設備及び排水設備)

当該点検に関与した点検者		氏 名		点検者番号		
		代表となる点検者				
		その他の点検者				
番号	検 査 項 目 等		対象外項目	点検結果		担当点検者番号
				指摘なし	要是正	既 存 不 適 格
<b>1</b>	<b>飲料用の配管設備及び排水設備</b>					
(1)	飲料用配管及び	配管の取付けの状況				
(2)	排水配管（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	配管の腐食及び漏水の状況				
(3)		配管が貫通する箇所の損傷防止措置の状況				
(4)		継手類の取付けの状況				
(5)		保温措置の状況				
(6)		防火区画等の貫通措置の状況				
(7)		配管の支持金物				
(8)		飲料水系統配管の汚染防止措置の状況				
(9)		止水弁の設置の状況				
(10)		ウォーターハンマーの防止措置の状況				
(11)		給湯管及び膨張管の設置の状況				
<b>2</b>	<b>飲料水の配管設備</b>					
(1)	飲料用の給水タンク及び貯水タンク（以下「給水タンク等」という。）並びに給水ポンプ	給水タンク等の設置の状況				
(2)		給水タンク等の通気管、水抜き管、オーバーフロー管等の設置の				
(3)		給水タンク等の腐食及び漏水の状況				
(4)		給水用圧力タンクの安全装置の状況				
(5)		給水ポンプの運転の状況				
(6)		給水タンク及びポンプ等の取付けの状況				
(7)		給水タンク等の内部の状況				
(8)	給湯設備（循環ポンプを含む。）	給湯設備（ガス湯沸器を除く。）の取付けの状況				
(9)		ガス湯沸器の取付けの状況				
(10)		給湯設備の腐食及び漏水の状況				
(11)		電気給湯器の取付けの状況				
<b>3</b>	<b>排水設備</b>					
(1)	排水槽	排水槽のマンホールの大きさ				
(2)		排水槽の通気の状況				
(3)		排水漏れの状況				
(4)		排水ポンプの設置の状況				
(5)		排水ポンプの運転の状況				
(6)		地下街の非常用の排水設備の処理能力及び予備電源の状況				
(7)	排水再利用配管設備（中水道を含む。）	雑用水の用途				
(8)		雑用水給水栓の表示の状況				
(9)		配管の標識等				
(10)		雑用水タンク、ポンプ等の設置の状況				
(11)		消毒装置				
(12)	その他	衛生器具	衛生器具の取付けの状況			
(13)		排水トラップ	排水トラップの取付けの状況			
(14)		阻集器	阻集器の構造、機能及び設置の状況			
(15)		排水管	公共下水道等への接続の状況			
(16)			雨水排水立て管の接続の状況			
(17)			排水の状況			
(18)			掃除口の取付けの状況			
(19)			雨水系統との接続の状況			
(20)			間接排水の状況			
(21)		通気管	通気開口部の状況			
(22)			通気管の状況			

4	上記以外の点検項目等				
特記事項					
番号	点検項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月	

- （注意）
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
  - ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
  - ③ 「当該点検に関与した点検者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の4様式第二面16欄に記入した点検者について記入し、「点検者番号」欄に点検者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の点検を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は削除して構いません。
  - ④ 点検対象建築物に給水設備及び排水設備がない場合は、この様式は省略して構いません。
  - ⑤ 該当しない点検項目等がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当点検者番号」欄までを取消線で抹消してください。
  - ⑥ 「点検結果」欄は、別表第四（ろ）欄に掲げる各点検事項ごとに記入してください。
  - ⑦ 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第四（ろ）欄に掲げる点検事項について同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
  - ⑧ 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
  - ⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
  - ⑩ 「担当点検者番号」欄は、「点検に関与した点検者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の点検を行った点検者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
  - ⑪ 4「上記以外の点検項目等」は、第2ただし書の規定により特定行政庁が点検項目等を追加したとき又は第2第2項の規定により点検の方法を記載した図書があるときに、特定行政庁が追加した点検項目等又は第2第2項に規定する図書に記載されている点検項目等を追加し、⑥から⑨に準じて点検結果等を記入してください。なお、これらの項目等がない場合は、4は削除して構いません。
  - ⑫ 「特記事項」は、点検の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっては特記すべき事項がある場合に、該当する点検項目等の番号、点検項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
  - ⑬ 要是正とされた点検項目等（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

点検結果表  
(防火扉)

当該点検に関与した点検者			氏 名	点検者番号		
		代表となる点検者				
		その他の点検者				

番号	検 査 項 目	点検事項	対象 外項目	点検結果			担当 点検者 番号	
				指摘 なし	要是正	既 存 不適格		
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況					
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況					
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況					
(4)		危害防止装置	作動の状況					
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置					
(6)			感知の状況					
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況					
(8)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況					
(9)				結線接続の状況				
(10)				接地の状況				
(11)				予備電源への切り替えの状況				
(12)			連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況				
(13)				容量の状況				
(14)		自動閉鎖装置		設置の状況				
(15)			再ロック防止機構の作動の状況					
(16)	総合的な作動の状況		防火扉の閉鎖の状況					
(17)			防火区画の形成の状況					
上記以外の点検項目								
特記事項								
番号	点検項目等		指摘の具体的内容等			改善（予定）年月		

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
  - ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
  - ③ 「当該点検に関与した点検者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した点検者について記入し、「点検者番号」欄に点検者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の点検を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は削除して構いません。
  - ④ 該当しない点検項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当点検者番号」欄までを取消線で抹消してください。
  - ⑤ 「点検結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各点検項目ごとに記入してください。
  - ⑥ 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる点検項目について同表（ろ）欄に掲げる点検事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
  - ⑦ 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
  - ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
  - ⑨ 「担当点検者番号」欄は、「点検に関与した点検者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の点検を行った点検者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
  - ⑩ 「上記以外の点検項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が点検項目を追加したときに、当該点検項目を追加し、⑤から⑨に準じて点検結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に点検の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている点検項目を追加し、⑤から⑨に準じて点検結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
  - ⑪ 「特記事項」は、点検の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっては特記すべき事項がある場合に、該当する点検項目の番号、点検項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
  - ⑫ 各階平面図を別添1の様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘(特記すべき事項を含む)のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
  - ⑬ 要是正とされた点検項目(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。



点検結果表  
(防火シャッター)

当該点検に関与した点検者		氏 名	点検者番号
	代表となる点検者		
	その他の点検者		

番号	検 査 項 目		点検事項	対象 外 項 目	点検結果			担当 点検者 番号
					指摘 なし	要是正	既 存 不 適 格	
(1)	防火シャッター	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況					
(2)		駆動装置	軸受け部のブラケット、巻取りシャフト及び開閉機の取付けの状況※					
(3)			スプロケットの設置の状況※					
(4)			軸受け部のブラケット、ベアリング及びスプロケット又はロープ車の劣化及び損傷の状況※					
(5)			ローラチェーン又はワイヤーロープの劣化及び損傷の状況					
(6)		カーテン部	スラット及び座板の劣化等の状況					
(7)			吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況					
(8)		ケース	劣化及び損傷の状況					
(9)		まぐさ及びガイドレール	劣化及び損傷の状況					
(10)		危害防止装置	危害防止用連動中継器の配線の状況					
(11)			危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況					
(12)			危害防止装置用予備電源の容量の状況					
(13)			座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況					
(14)			作動の状況					
(15)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置					
(16)			感知の状況					
(17)		温度ヒューズ装置	設置の状況					
(18)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況					
(19)			結線接続の状況					
(20)			接地の状況					
(21)			予備電源への切り替えの状況					
(22)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況					
(23)			容量の状況					
(24)		自動閉鎖装置	設置の状況					
(25)		手動閉鎖装置	設置の状況					
(26)	総合的な作動の状況		防火シャッターの閉鎖の状況					
(27)			防火区画の形成の状況					
上記以外の点検項目								
特記事項								
番号	点検項目等		指摘の具体的内容等					改善（予定）年月

(注意)

①

この書類は、建築物ごとに作成してください。

②

記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。

③

「当該点検に関与した点検者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した点検者について記入し、「点検者番号」欄に点検者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の点検を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は削除して構いません。

④

該当しない点検項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当点検者番号」欄までを取消線で抹消してください。

⑤

「点検結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各点検項目ごとに記入してください。

⑥

「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる点検項目について同表（ろ）欄に掲げる点検事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。

⑦

「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。

⑧

「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。

- ⑨ 「担当点検者番号」欄は、「点検に関与した点検者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の点検を行った点検者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ ※欄は、日常的に開閉するものについてのみ記入してください。
- ⑪ 「上記以外の点検項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が点検項目を追加したときに、当該点検項目を追加し、⑤から⑨に準じて点検結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に点検の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている点検項目を追加し、⑤から⑨に準じて点検結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑫ 「特記事項」は、点検の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する点検項目の番号、点検項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑬ 各階平面図を別添1の様式に従い添付し、防火シャッターの設置されている箇所及び指摘(特記すべき事項を含む)のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第一号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑭ 要是正とされた点検項目(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

点検結果表  
(耐火クロススクリーン)

当該点検に関与した 点検者		氏 名	点検者番号
	代表となる点検者		
	その他の点検者		

番号	検 査 項 目	点検事項	対象 外 項 目	点検結果			担当 点検者 番号
				指摘 なし	要是正	既 存 不 適 格	
(1)	耐火クロス スクリーン	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況				
(2)		駆動装置	ローラチェーンの劣化及び損傷の状況				
(3)		カーテン部	耐火クロス及び座板の劣化及び損傷の状況				
(4)			吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況				
(5)		ケース	劣化及び損傷の状況				
(6)		まぐさ及びガイドレール	劣化及び損傷の状況				
(7)		危害防止装置	危害防止用連動中継器の配線の状況				
(8)			危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況				
(9)			危害防止装置用予備電源の容量の状況				
(10)			座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況				
(11)			作動の状況				
(12)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式 感知器及び熱感知器	設置位置				
(13)			感知の状況				
(14)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況				
(15)			結線接続の状況				
(16)			接地の状況				
(17)			予備電源への切り替えの状況				
(18)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況				
(19)			容量の状況				
(20)		自動閉鎖装置	設置の状況				
(21)		手動閉鎖装置	設置の状況				
(22)	総合的な作動の状況		耐火クロススクリーンの閉鎖の状況				
(23)			防火区画の形成の状況				

上記以外の点検項目


特記事項

番号	点検項目等	指摘の具体的内容等	改善（予定）年月

(注意)

- この書類は、建築物ごとに作成してください。
- 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- 「当該点検に関与した点検者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した点検者について記入し、「点検者番号」欄に点検者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の点検を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は削除して構いません。
- 該当しない点検項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当点検者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- 「点検結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各点検項目ごとに記入してください。
- 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる点検項目について同表（ろ）欄に掲げる点検事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- 「担当点検者番号」欄は、「点検に関与した点検者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の点検を行った点検者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- 「上記以外の点検項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が点検項目を追加したときに、当該点検項目を追加し、⑤から⑨に準じて点検結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に点検の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている点検項目を追加し、⑤から⑨に準じて点検結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- 「特記事項」は、点検の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する点検項目の番号、点検項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- 各階平面図を別添1の様式に従い添付し、耐火クロススクリーンの設置されている箇所及び指摘(特記すべき事項を含む)のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第一号、別記第二号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- 要是正とされた点検項目(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

点検結果表  
(ドレンチャーその他の水幕を形成する防火設備)

当該点検に関与した点検者			氏 名	点検者番号			
		代表となる点検者					
		その他の点検者					

番号	検 査 項 目	点検事項	対象 外 項 目	点検結果			担当 点 検 者 番 号
				指摘 なし	要是正	既 存 不 適 格	
(1)	ドレンチャー 等	設置場所の周囲状況	作動の障害となる物品の放置の状況				
(2)		散水ヘッド	散水ヘッドの設置の状況				
(3)		開閉弁	開閉弁の状況				
(4)		排水設備	排水の状況				
(5)		水源	貯水槽の劣化及び損傷、水質並びに水量の状況				
(6)			給水装置の状況				
(7)			ポンプ制御盤のスイッチ類及び表示灯の状況				
(8)			結線接続の状況				
(9)			接地の状況				
(10)			ポンプ及び電動機の状況				
(11)			加圧送水装置用予備電源への切り替えの状況				
(12)			加圧送水装置用予備電源の劣化及び損傷の状況				
(13)			加圧送水装置用予備電源の容量の状況				
(14)			圧力計、呼水槽、起動用圧力スイッチ等の付属装置の状況				
(15)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器（火災感知用ヘッド等の感知装置を含む。）	設置位置				
(16)			感知の状況				
(17)		制御盤	スイッチ類及び表示灯の状況				
(18)			結線接続の状況				
(19)			接地の状況				
(20)			予備電源への切り替えの状況				
(21)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況				
(22)			容量の状況				
(23)		自動作動装置	設置の状況				
(24)		手動作動装置	設置の状況				
(25)		総合的な作動の状況	ドレンチャー等の作動の状況				
(26)			防火区画の形成の状況				

上記以外の点検項目							

特記事項				
番号	点検項目等	指摘の具体的内容等		改善（予定）年月

(注意)

① この書類は、建築物ごとに作成してください。

② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。

③ 「当該点検に関与した点検者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した点検者について記入し、「点検者番号」欄に点検者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の点検を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は削除して構いません。

④ 該当しない点検項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当点検者番号」欄までを取消線で抹消してください。

⑤ 「点検結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各点検項目ごとに記入してください。

⑥ 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる点検項目について同表（ろ）欄に掲げる点検事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。

⑦ 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。

⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。

⑨ 「担当点検者番号」欄は、「点検に関与した点検者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の点検を行った点検者が1人の場合は、記入しなくても構いません。

⑩ 「上記以外の点検項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が点検項目を追加したときに、当該点検項目を追加し、⑤から⑨に準じて点検結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に点検の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている点検項目を追加し、⑤から⑨に準じて点検結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。

- ⑪ 「特記事項」は、点検の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する点検項目の番号、点検項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添１の様式に従い添付し、ドレンチャ―その他の水幕を形成する防火設備の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添１の様式は別記第一号、別記第二号又は別記第三号の各々の別添１の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた点検項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添２の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添１の様式に明記してください。

注)配置図及び各階平面図を添付し、指摘のあった箇所(特記すべき事項を含む)や撮影した写真の位置等を明記すること。

関係写真

部位	番号	調査項目	調査結果
			<input type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
写真貼付		特記事項	
		写真No.	
		指摘事項：	
		改善策：	
		判定：	

部位	番号	調査項目	調査結果
			<input type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
写真貼付		特記事項	
		写真No.	
		指摘事項：	
		改善策：	
		判定：	

（注意）

- ① この書類は、調査の結果「要是正」かつ「既存不適格」ではない項目について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目がない場合は、この書類は省略しても構いません。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「部位」欄の「番号」、「調査項目」は、それぞれ別記様式の番号、調査項目に対応したものを記入してください。
- ④ 「調査結果」欄は、調査の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑤ 写真は、当該部位の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。

別添E- 3  
是正項目一覧表

↓該当する場合「●」、該当しない場合「－」

所属情報		施設情報		点検結果情報				優先順位検討			判定	特記事項	写真 No.	点検項目 番号
所属 コード	所属名	施設番 号	施設名	指摘のあった 点検業務名	不具合箇所	不具合内容	初回発覚日	①法令違 反	②危険 性	③緊急性				
								【● or －】	【● or －】	【● or －】				
		(5		(リスト選択)	(50文字以	(50文字以内)		(リスト選択)	(リスト選択)	(リスト選択)	(リスト			



別添E-3（記載例）  
是正項目一覧表

↓該当する場合「●」、該当しない場合「―」

所属情報		施設情報		点検結果情報				優先順位検討			判定	特記事項	写真 No.	点検項目 番号
所属 コード	所属名	施設番 号	施設名	指摘のあった 点検業務名	不具合箇所	不具合内容	初回発覚日	①法令違 反	②危険 性	③緊急性				
								【● or ―】	【● or ―】	【● or ―】				
		(5		(リスト選択)	(50文字以	(50文字以内)		(リスト選択)	(リスト選択)	(リスト選択)	(リスト			
	保育課	109	朝日こども園	建築基準法定期点検 （建築設備）12条4項	職員室・廊下・ 遊戯室	非常照明（蛍光灯）不点灯	2020年12月14日	―	―	―	B		1	非2-(1)
	保育課	421	今こども園	建築基準法定期点検 （建築設備）12条4項	2階男子便所	小便器防臭蓋欠損（2ヶ 所）	2020年12月14日	―	―	―	B		2	給3- (12)
	保育課	462	若宮こども園	建築基準法定期点検 （建築設備）12条4項	1階女子便所	女子便所大便器フラッシュ バルブより漏水	2020年12月14日	―	―	―	B		3	給3- (12)
	保育課	1501	本地こども園	建築基準法定期点検 （建築設備）12条4項	1階男子便所	男子便所洗面器固定不良	2020年12月14日	―	―	―	B		4	給3- (12)
	保育課	3423	大蔵こども園	建築基準法定期点検 （建築設備）12条4項	職員室	事務室湯沸し換気風量不足 （必要換気量の85%）	2020年11月4日	●	―	―	D	①必要換気量256.68（m³/h）・② 測定風量220.32（m³/h）・③グリ ル及び換気扇の清掃	1	換2- (13)
	保育課	432	志賀子ども つどいの広 場	建築基準法定期点検 （建築設備）12条4項	男子便所	掃除流しSKトラップの発 錆	2020年11月4日	―	―	―	B		2	給3- (13)

## 豊田市評価判定基準

## 1 判定の目的

定期点検の趣旨は、施設管理者への建築物の劣化状況等の理解を深めることと、維持保全・安全対策について必要な措置を考えてもらうことである。

そのため、定期点検の結果は誰が見ても分かりやすく、重要度が分かるものが良い。建築基準法第12条各項に基づく書式のみではなく、判定のランク付け等を行うことにより、より分かりやすい報告書とすることを判定の目的とする。

## 2 判定のランク付け

原則、是正事項ごとに、A、B、C及びEの4段階で判定する。

**※本委託において、判定「D」は使用しない。**

判定	定義	定義詳細
<b>A</b>	<b>問題ない</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に措置を要しない</li> <li>・既存不適格</li> </ul>
<b>B</b>	<b>軽微な対応 経過を観察 機会を見て補修・改善</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築基準法への不適合はこの点検では確認されないが、維持管理上軽微な対応が必要である。</li> <li>・部材等に劣化の兆候があるため引き続き観察を続ける又は、機会を見て補修・改善が必要である。</li> </ul>
<b>C</b>	<b>法令の適否不明 (要精密調査)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築基準法の適否がこの点検の範囲では判断できないため、精密調査（別途）が必要である。</li> <li>・部材等の劣化に関して不具合範囲がこの点検の範囲では判断できないため、精密（別途）調査が必要である。</li> <li>・作動点検の有無を確認する項目で、点検を行うことができず、別途作動点検が必要である。</li> </ul>
<b>D</b>	<b>補修・改善を要する</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令には適合しているが、施設利用者に支障を来すなど早急な補修・改善を要するもの。</li> </ul>
<b>E</b>	<b>即補修・改善を要する</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築基準法への不適合が確認され、補修・改善が必要である。</li> </ul>

## 定期点検報告書作成要領（12条点検）

### 1 点検結果報告書類電子データ

- (1) 提出媒体は CD-R とし、1 施設 1 フォルダでデータを保存する。  
 (2) 報告書は、下表のとおり番号順で保存する。

データ名	出力サイズ等	データ形式
① 定期点検結果報告書（様式 E-1）	A4（片面）	エクセル及び PDF
② 点検結果表（別紙 E-1～9） ※該当するもののみ別紙番号順	A4（片面）	エクセル及び PDF
③ 調査結果図（配置図→平面図→立面図） （別添 E-1）	A3（片面）	エクセル及び PDF
④ 関係写真（別添 E-2）	A4（両面）	エクセル及び PDF
⑤ 是正項目一覧表（別添 E-3）	A3（片面）	エクセル
⑥ 修繕箇所図（別添 4）	A3（片面）	エクセル

### 2 各様式の記入方法詳細について

#### ①定期点検結果報告書（様式 E-1）表紙について

受託者の記載方法（例）は以下のとおり。

受託者 所属名称 ○○○○（株）  
 代表者氏名 代表取締役 ○○○○  
 業務担当責任者 ○○○○  
 資格・番号 ○級建築士（第○○○○○○○号）※業務担当責任者の資格  
 点検者氏名 ○○○○  
 資格・番号 ○級建築士（第○○○○○○○号）※点検者の資格

※点検者の氏名は、現地点検を行った全員の氏名・資格等を記載する。

#### ②点検結果表（別紙 E-1～9）について

- ・点検項目で対象外項目は取消線で抹消ではなく、「対象外項目」欄に○印を記入する。
- ・点検結果表の特記事項にある「改善策の具体的内容等」欄は、経過観察や詳細チェックが必要という記述だけではなく、その後想定される代表的な措置と緊急度を記入する。
- ・施設が工事等で点検できない箇所は、特記事項にコメントを記入し、点検できなかった箇所が分かるように平面図等にも記入する。

#### ③調査結果図（別添 E-1）について

- ・当初提供図面やリストにない棟は、赤線で図面等に追記し寸法を記入する。
- ・図面等の引出線には指摘事項・写真番号を記入し、点検結果表にある項目番号は記入しない。

**④関係写真（別添 E-2）について**

- ・ 写真番号は点検結果票の項目番号の順とする。
- ・ 点検結果の欄は、特殊な指摘事項（点検項目以外に限る）の場合にその他のチェックボックスに「レ」マークを記入する。
- ・ 特記事項には「指摘事項」「改善策」「判定」を記入する。
- ・ 写真は 1 ページにつき 3 枚とする。注意書きは関係写真の最終ページに 1 箇所記入する。

**⑤是正項目一覧表（別添 E-3）について**

- ・ 是正項目一覧表は、別添 3 記入例を参考に記入する。
- ・ 是正項目一覧表の指摘の具体的内容等は点検結果表の指摘事項をそのまま転記する。その際、同じ指摘事項が複数の部位・棟にある場合には一項目にまとめて記載し、部位・棟名を記入する。

**【EXCEL の作成方法について】**

- ・ C 列（施設番号）の施設番号を 5 ケタとする（「0」も記入する）。
- ・ D 列（施設名）を「施設不具合対応状況管理システム」に登録された施設名（契約仕様書上の施設名）と一致させる。
- ・ E 列（管理番号）に文字を入力しないこと。
- ・ F 列（指摘のあった点検業務名）を「施設不具合対応状況管理システム」に登録された点検名と一致させること（Excel 上の入力規制あり）。
- ・ H 列（不具合箇所）の内容は 50 文字以内で入力すること。
- ・ I 列（不具合内容）について、文字入力の際に以下の文字は使用しないこと。  
※入力不可の文字（「剥」「ℓ」「m」「繋」）については、代用文字（「剥」「リットル」「立方メートル」「繋」）を使用すること。
- ・ K～M 列（優先順位検討）の判定について、対象外は「-」（半角）と入力すること（Excel 上の入力規制あり。「一」（全角）は不可）。
- ・ K～M 列（優先順位検討）の判定について、E 判定の場合は「法令違反」「危険性」の少なくとも 1 つを選択すること。
- ・ N 列（判定）で B 判定の不具合は、K～M 列（優先順位検討）の判定を全て「-」（半角）と入力すること（Excel 上の入力規制あり。「●」は入力不可）。
- ・ O 列（対応状況）は全て「×」と入力すること（Excel 上の入力規制あり。空欄は不可）。
- ・ P 列（直近点検／確認日）は全て空欄とし、文字は入力しないこと。
- ・ N 列（判定）が E 判定の不具合の場合は、S 列（対応予定時期（年／月））には日付を入力すること。  
※空欄不可。西暦で記入要。入力日は点検実施の翌年度末とする（例：令和 6 年度点検の場合、「2026/03」（令和 7 年度末月、日付は 2 ケタ）と記入）。

**⑥修繕箇所図（別添 4）について**

- ・ 全点検結果における「E」の項目について、箇所及び修繕内容を示す写真を施設毎にまとめて提出する。

【様式E-1】

定期点検結果報告書

令和 年 月 日

委託者 豊 田 市 長 様

受託者 所属名称  
代表者氏名  
業務責任者  
資格・番号  
点検者氏名  
資格・番号

下記建築物について定期点検した結果は別紙のとおりです。

記

建築物 名称

所在地

点検年月日 令和 年 月 日

【様式E-2】

屋外広告物安全点検報告書

年 月 日

豊田市長 様

報告者 住 所 〒 ー

氏 名 ⑨  
〔名称及び  
代表者氏名〕

電 話 ( ) ー

豊田市屋外広告物規則第10条第2項第1号の規定により、次のとおり報告します。

広告物等の種別			
表示又は設置の場所			
更新に係る許可の 年月日及び番号	年 月 日	第	号
設 置 年 月 日	年 月 日	点 検 年 月 日	年 月 日
点 検 者	氏 名		
	住 所		
	電話番号		
	保有資格		

点 検 箇所	点 検 項 目	異常の 有・無		改 善 の 概 要
上 基 部 礎 構 造 ・	1 上部構造全体の傾斜又はぐらつき	有	無	
	2 基礎のクラック、支柱と根巻きとの隙間又は支柱のぐらつき	有	無	
	3 鉄骨のさび又は塗装の老朽化	有	無	
支 持 部	1 鉄骨接合部分（溶接部及びプレート）の腐食、変形又は隙間	有	無	
	2 鉄骨接合部品（ボルト、ナット及びビス）の緩み又は欠落	有	無	
取 付 部	1 アンカーボルト及び取付部プレートの腐食又は変形	有	無	
	2 溶接部の劣化又はコーキングの劣化等	有	無	
	3 取付対象部分（柱、壁及びスラブ）及び取付部周辺の異常	有	無	
広 告 板 ・ 文 字	1 表示面板及び切り文字等の腐食、破損若しくは変形又はビス等の欠落	有	無	
	2 側板及び表示面板押さえの腐食、破損、ねじれ、変形又は欠損	有	無	
	3 広告板底部の腐食又は水抜き孔の詰まり	有	無	
照 明 装 置	1 照明装置の不点灯又は不発光	有	無	
	2 照明装置の取付部の破損、変形、さび又は漏水	有	無	
	3 周辺機器の劣化又は破損	有	無	
そ の 他	1 附属部材（装飾、振れ止め棒、鳥よけその他附属品）の腐食及び破損	有	無	
	2 避雷針の腐食又は損傷	有	無	
	3 その他点検した事項（ ）	有	無	

- 注 意
- 1 当初の設置年月日が不明の場合は、当初の許可年月日を記入すること。
  - 2 広告物等の種別により、該当する点検箇所・点検項目がない場合は、異常の有・無欄に斜線を引くこと。
  - 3 異常が有る場合は、改善の概要を記入すること。